



NEXT JUSTICE



国立情報学研究所
尾城 孝一

国会でも**JUSTICE**が話題に

参議院文教科学委員会での審議（平成26年5月13日）

● 質問

● EJ価格高騰問題について

- その要因をどのように把握しているか
- その状況が研究活動にどう影響しているか
- どんな対策を取っているか

● 回答

- **JUSTICE**が毎年50-60社と直接交渉しており価格上昇率をある程度抑制している

インターネット審議中継

http://www.webtv.sangiin.go.jp/generator/meta_generator_wmv.php?ssp=15725&mode=LIBRARY

会議録より抜粋

○**柴田巧君** こういう具合にいろんなところで大変な状況が起きつつあるわけですが、そういう中で、学術情報基盤の整備に貢献をするためということで、平成二十三年に、大学やあるいは大学共同利用機関、また省庁の大学校等の五百二の図書館によって大学図書館コンソーシアム連合、**JUSTICE** と一般に呼んだりしますが、これができて、教育研究機関において不可欠な学術情報の確保と発信の一層強化を図ることを期待をされてきたわけですが、この **JUSTICE** において、この問題に、このジャーナルの価格高騰化に対していろんな取組をしているということですが、どういうふうにされているか。また、一番根本的な価格高騰そのものを抑制するということが果たしてその **JUSTICE** の活動で可能なのかどうか。ここら辺も含めてお聞きをしたいと思います。

○**政府参考人（小松親次郎君）** ジャーナルの価格高騰につきましては大学共通の課題であるということから、ただいまお話のございましたように、平成二十三年の四月に**大学図書館コンソーシアム連合** というものができて活動いたしております。

これは国公立大学等が連携協力をして、ただいまのお話の範囲で申しますと、学術ジャーナルなどを出しております商業出版社と価格交渉を行うといったような活動をいたしております。私ども承知しておりますところでは、大学コンソーシアム連合では毎年五十社以上、まあ五十社からあるいは六十社台くらいのお出版社と直接の交渉を行っております。価格上昇率を一定程度は抑制する成果を上げているというふうに聞いております。

<http://online.sangiin.go.jp/kaigirok/daily/select0106/186/18605130061013a.html>

JUSTICEは学術情報基盤 の不可欠なコンポーネント

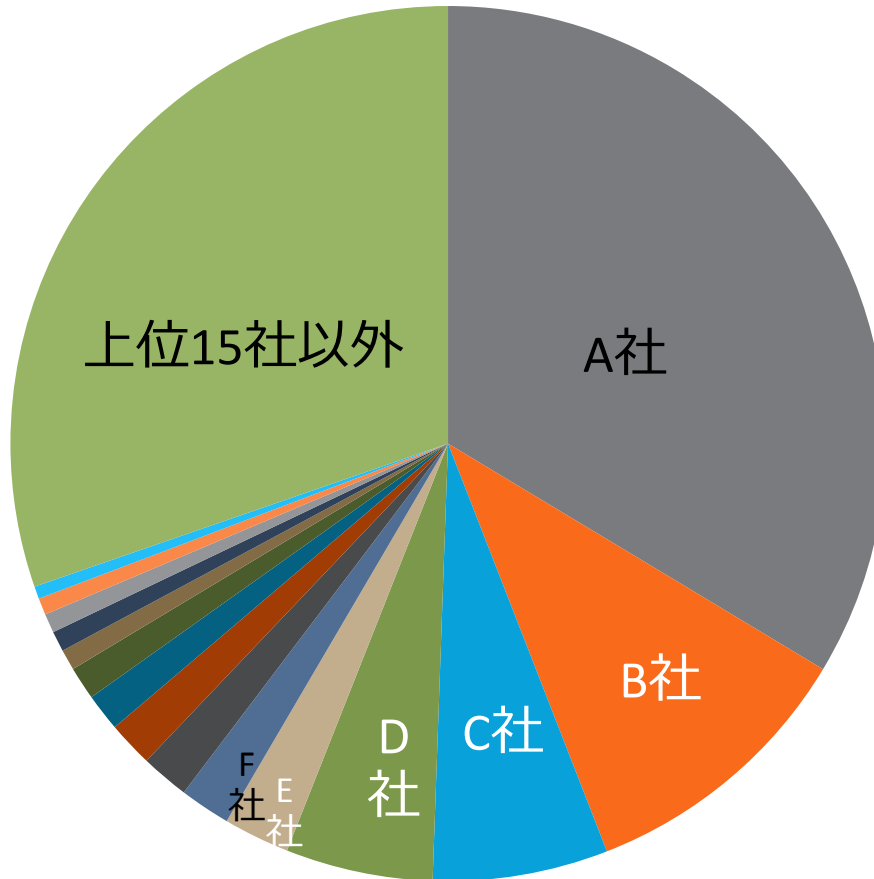
世界有数の大規模コンソーシアム

コンソーシアム	国	参加機関数	概要
Lyrasis	アメリカ	1,290	米国の代表的な3つの地域コンソーシアムSOLINETとPALINET及びNELINETが合併し2009年に設立。会員制非営利団体。電子ジャーナルの契約交渉の他に、総合目録の構築や図書館間相互貸借、研修事業等も行う。
Jisc Collections	イギリス	633	英国高等教育助成会議（Higher Education Funding Councils：HEFCs）によって1993年に設立されたJiscの子会社であるJisc Collections社が電子ジャーナルを始めとしたデジタル資料の国家的な構築・整備を行う。専門学校（Further Education College）を含む。
Couperin	フランス	211	1999年に4つの大学図書館により創設され、全国レベルに発展した非営利団体。参加機関のボランティアによる運営。電子ジャーナルのライセンス契約の他、デジタル資料のコレクション整備に関する国家的なプロジェクトへの協力活動も行う。
JUSTICE	日本	507	平成23（2011）年4月設立。 国立：98機関。 公立：67機関。 私立：339機関。 その他：3機関。

（2014.5.29現在）

JUSTICEの購買力（buying power）

□ 外国雑誌（電子＋冊子）の出版社別支出額の割合



総額は？

- 上位3社で50%
- 上位6社で60%
- 上位15社で70%

平成25（2013）年度 JUSTICE契約状況調査結果報告

交渉実績

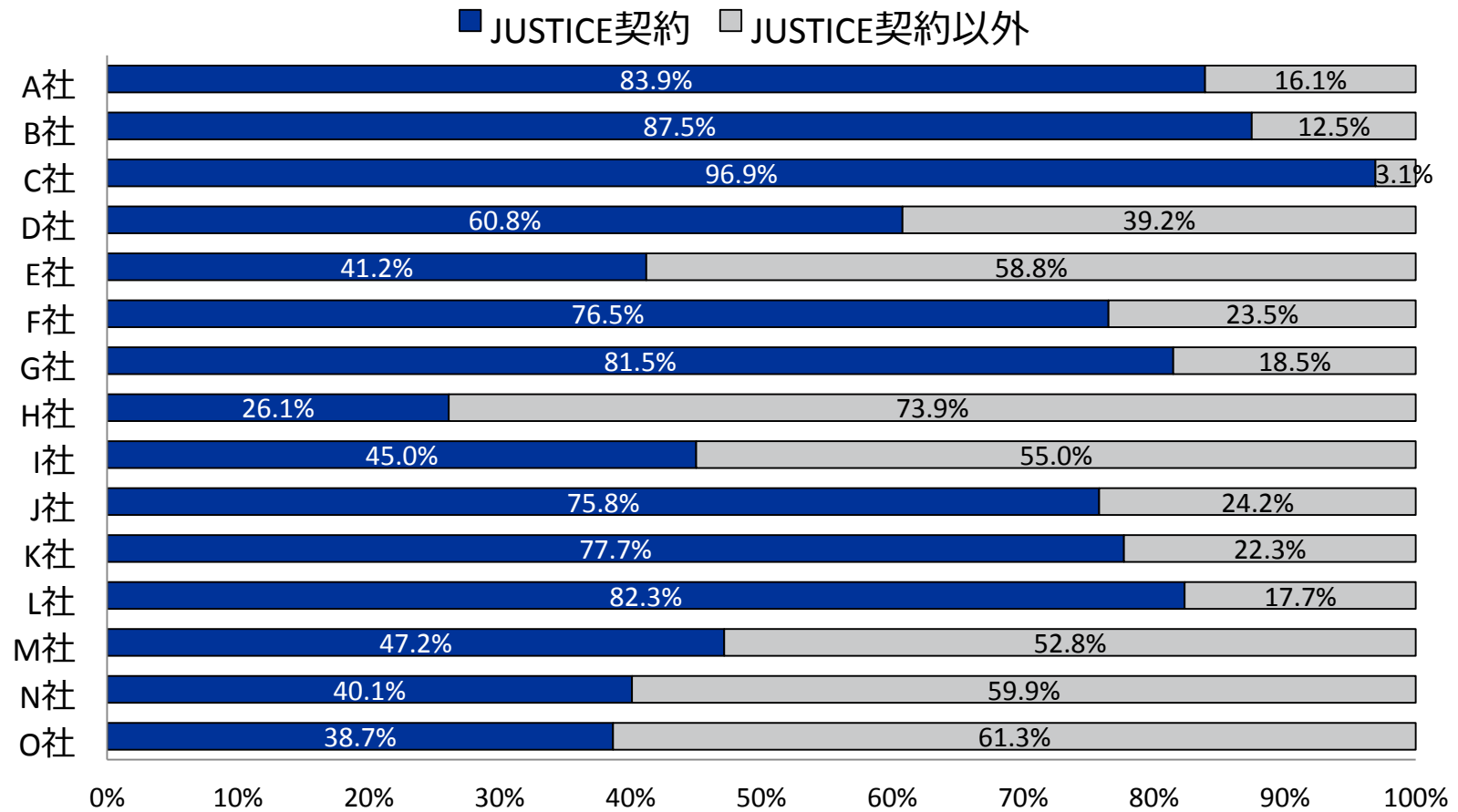
- 出版社交渉を通じたEリソースの購入・利用条件の確定
- 出版社との契約条件（価格条件，利用条件）の交渉を一元化
 - 会員館に対する標準提案までを交渉し、交渉結果（合意提案書）を開示
 - 価格のみならず、利用条件等を含む50以上の項目について精査
 - 契約・支払等は、交渉結果（合意提案書）をもとに各会員館が行う

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
交渉対象出版社	55社	67社	65社
提案合意出版社	42社	55社	53社
交渉回数（※）	140回	99回	94回

※ 出版社との直接交渉回数のみ。このほか、電話・電子メールによるやりとり多数。
 平成23年度に主な大手出版社との3年提案に合意していることから、平成24・25年度の直接交渉回数は減少（電話・電子メールによるやりとりは増加）。

JUSTICE効果

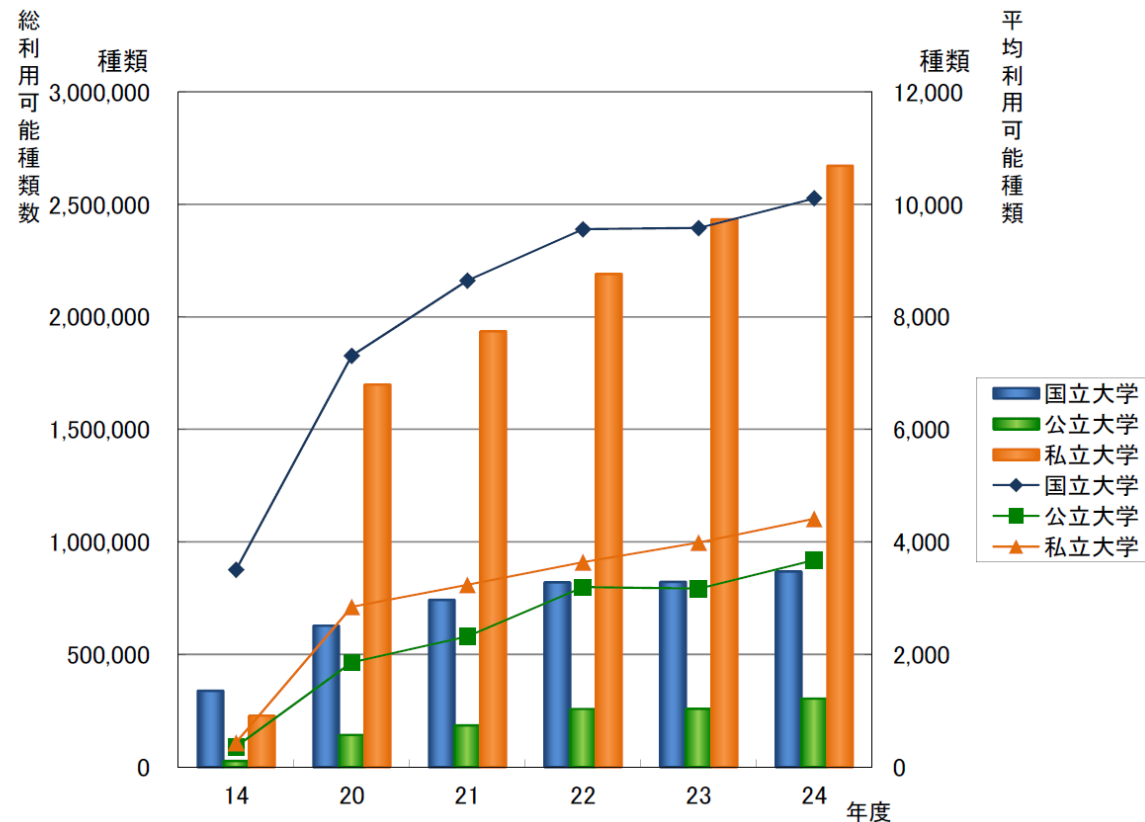
主要15社に対する電子支出総額の約80%はJUSTICE提案による契約



平成25（2013）年度 JUSTICE契約状況調査結果報告

電子ジャーナルの導入状況

- 電子ジャーナル（電子媒体によって提供される形態の雑誌）の総利用可能種類数は、前年度と比較して、大学全体で9.3%（328,019種類）増となっており、増加傾向が継続しています。



* 文部科学省 平成25年度大学図書館実態調査／学術情報基盤実態調査による

電子ジャーナルは研究の「日用品」

○学術図書館研究委員会（SCREAL）による平成23（2011）年調査

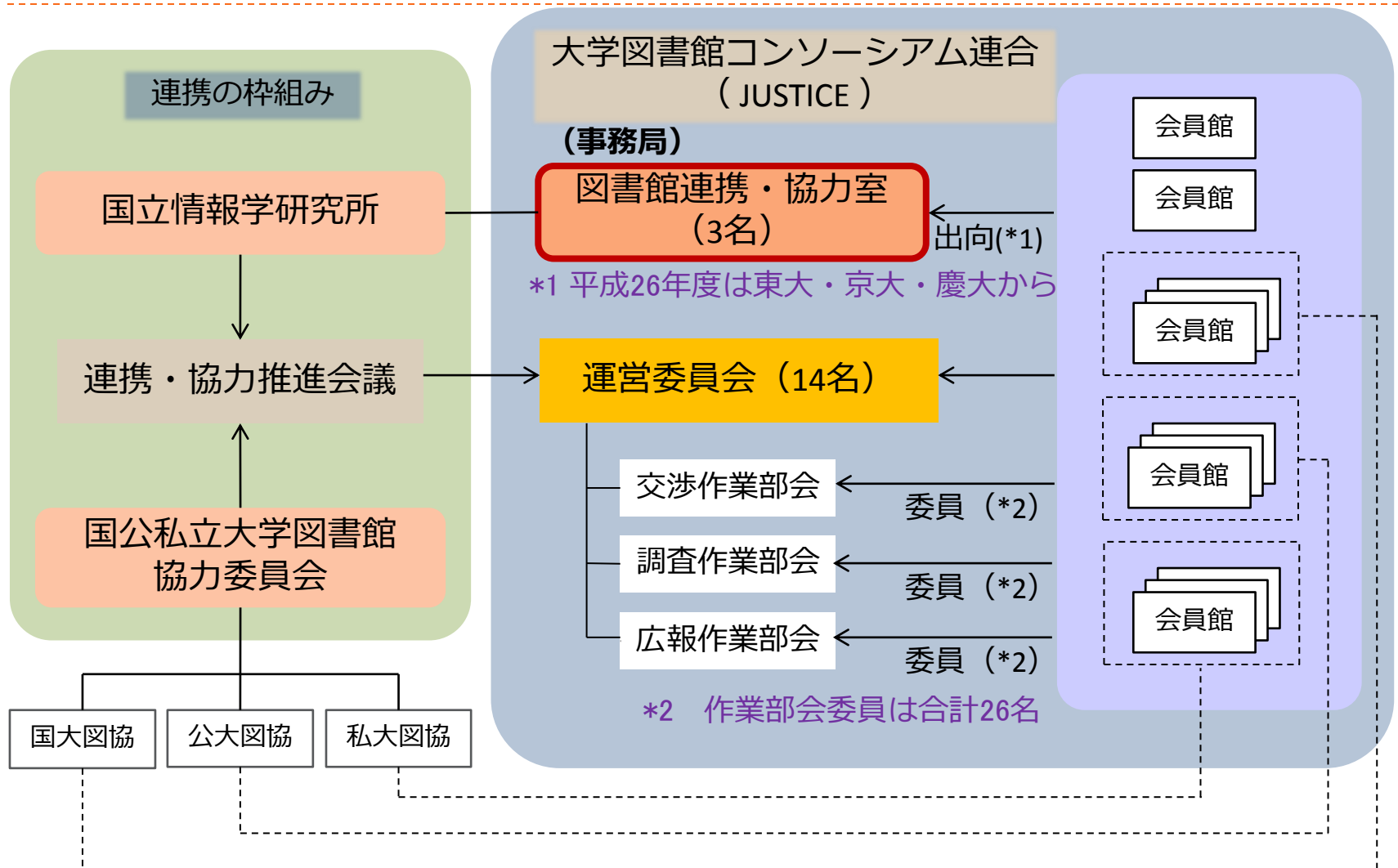
- ・国内45の大学等の機関を対象
- ・3,922の有効回答

http://www.screal.jp/2011/2011_jpn_all_F.pdf

●電子ジャーナルなしではわが国の学術研究は成り立たない

- 薬学、化学、生物学、物理学、医学の分野では、半数以上が電子ジャーナルを「ほぼ毎日」使っている
- 人文社会系でも7割以上が「月に1回以上」利用している
- バックナンバーについては半数以上が電子ジャーナルがあれば印刷体は不要と考えている
- 電子書籍に対する期待も大きい

JUSTICEの運営組織



The hidden truths of JUSTICE

世界で最も安上がりなコンソーシアムのひとつ！

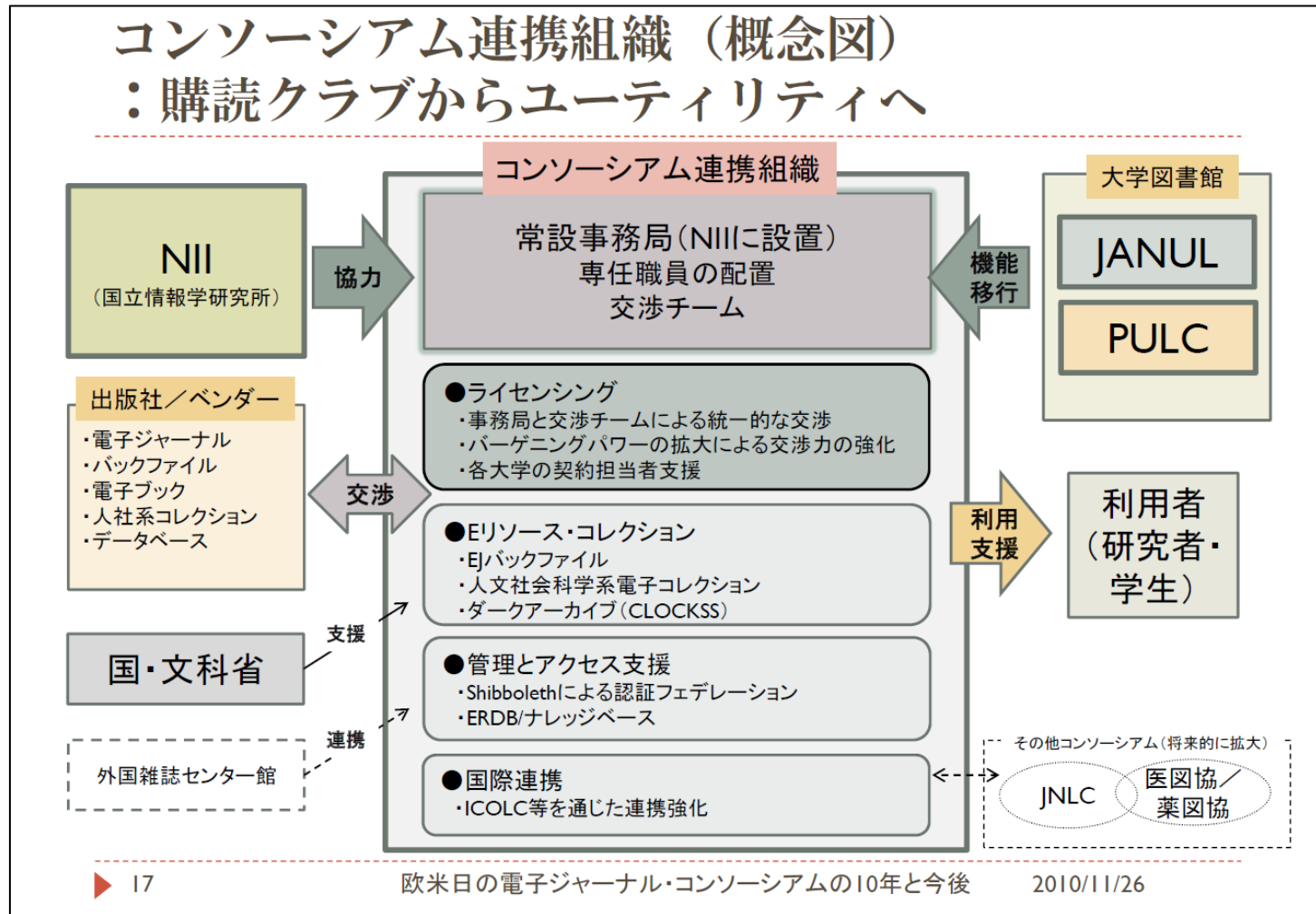
- Not only one of the largest (30B JPN+) , but one of the world's "cheapest" consortia
 - No real budget
 - Minimal staffing (3 FTEs) , salaries paid by someone
- An experimental future form of library consortium, library utility, and a replacement of the existing Japan's utility

by Syun Tutiya @ ICOLC Istanbul (Sept. 2011)

しかしながら、
単なる購買クラブではない
≠Buyers' Club

購読クラブからユーティリティへ

コンソーシアム連携組織（概念図） ：購読クラブからユーティリティへ



平成26年度JUSTICE活動計画



出版社交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定

電子ジャーナルのバックファイル、電子コレクション等の拡充

電子リソースの管理システムの共同利用

電子リソースの長期保存とアクセス保証

電子リソースに関わる図書館職員の資質向上

平成25年度大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE)総会資料より

電子リソースの管理システムの共同利用

- NIIのERDBプロトタイプ構築プロジェクトに参加
 - 電子リソース管理業務（書誌情報、契約情報、ライセンス情報等の管理）の一元化・効率化
- 利用統計データ取得・管理
 - COUNTERに参加し、最新情報収集を図ると共に、利用統計データの取得・管理の効率化に向けた調査を実施



電子リソースの管理に必要なデータ（書誌、ナレッジデータ、ライセンス情報、統計情報）を一元的に整備し、それを会員館に配信する → 新たな会員館サービス

Jisc Collectionsの活動例

- Knowledge Base+ (KB+)
 - 英国内の学術図書館における電子リソース管理業務の支援を目的としたコミュニティベースのサービス
 - 図書館、出版社、ナレッジベースベンダー間でのナレッジベースのシェアによる情報共有とコスト削減をめざす
- elcat: Electronic Licence Comparison and Analysis Tool
 - 電子リソースのライセンス情報を比較・分析するツール
- JUSP: Journal Usage Statistics Portal
 - 電子ジャーナルの利用統計を一元的に取得できるポータルサイト
- PECAN: Pilot for Ensuring Continuity of Access via NESLi2
 - NESLi2のアグリーメントに含まれるキャンセル後のアクセスの条件に関する先行研究

電子リソースに関わる図書館職員の資質向上

● 実務研修

年度	氏名	派遣元	期間
平成23年度	柴田 育子	一橋大学	H23.9.1～H24.3.31 (7か月)
	藤江雄太郎	大阪大学	H23.10.17～H24.3.16 (5か月)
	西脇亜由子	明治大学	H23.12.1～H24.3.31 (4か月)
平成24年度	塩出 郁	大阪大学	H24.8.1～H25.3.31 (8か月)
平成25年度	応募者なし		
平成26年度	関澤 智子	新潟大学	H26.5.16～H26.8.13 (3か月)

● NII研修プログラムとの連携

『電子資料契約実務必携』

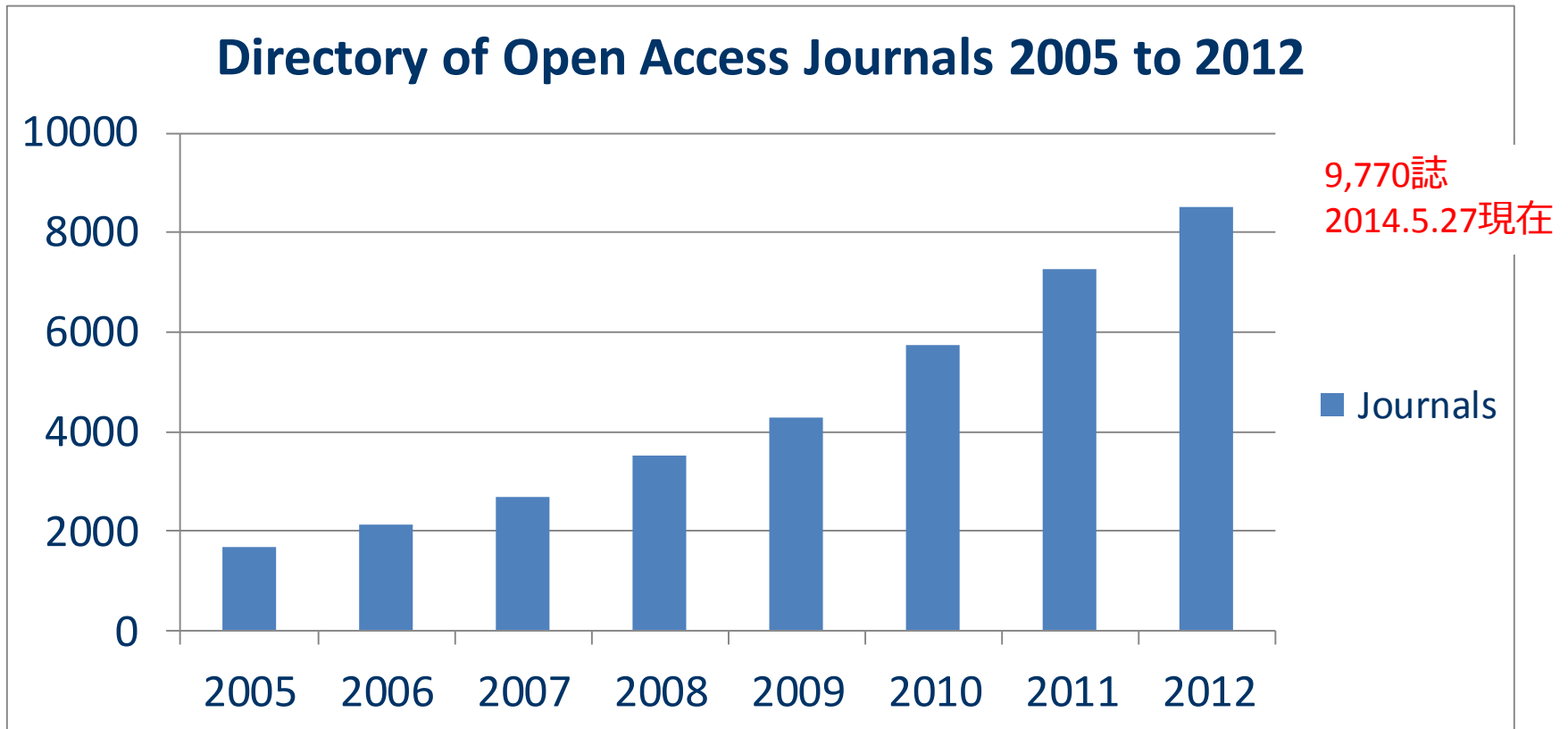
目次

- 第1章 電子資料をめぐる近年の状況
- 第2章 電子ジャーナル
- 第3章 データベース
- 第4章 電子ブック
- 第5章 電子資料の契約とライセンス
- 第6章 電子資料の契約情報管理と統計
- 第7章 電子資料の利用者への提供
- 第8章 電子資料の長期的保存
- 用語集
- 参考文献

(H23年度実務研修の成果)

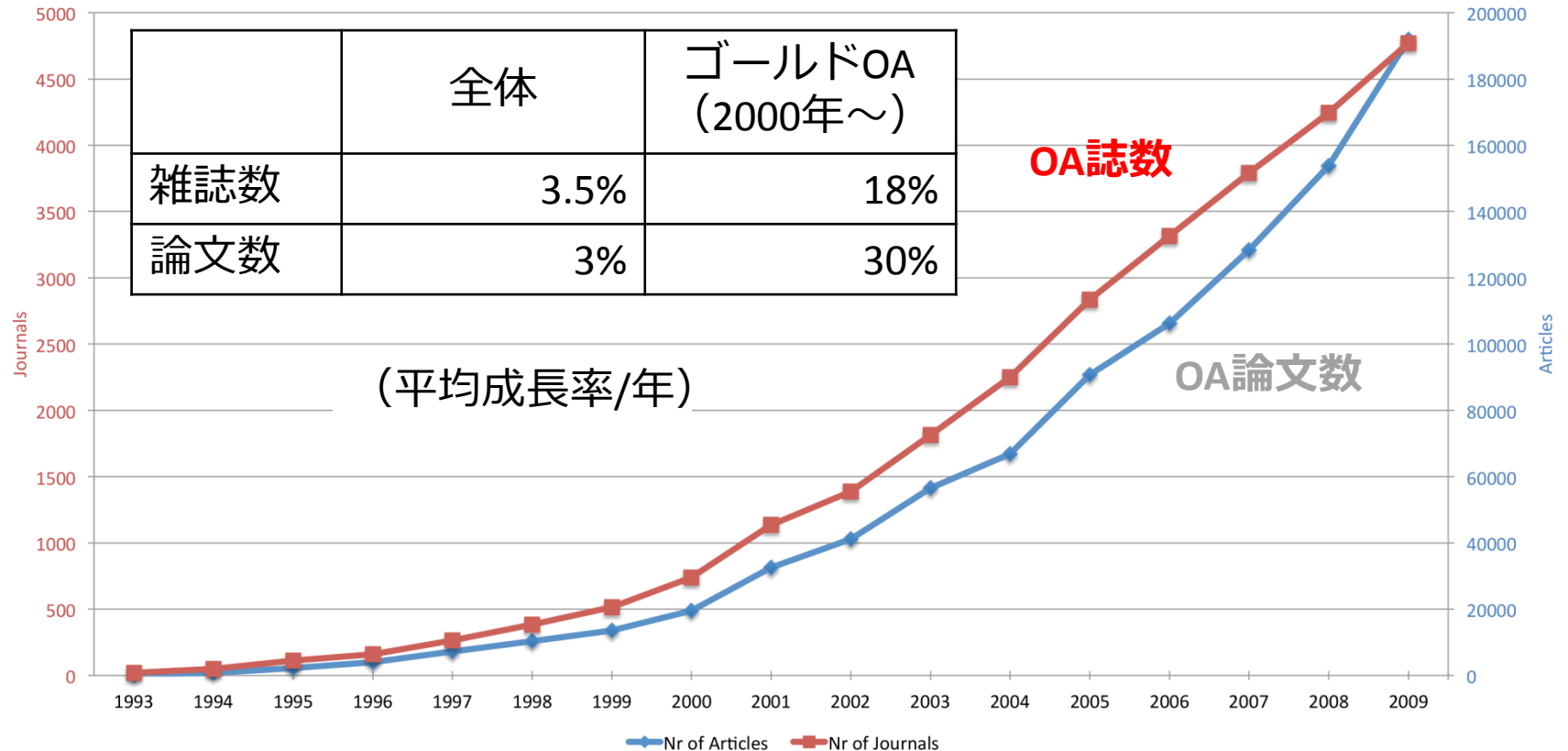
受信から発信へ OAジャーナルへの対応

OAジャーナルの増加



根本輝子. 国内におけるGoldオープンアクセスとAPCの情勢. 図書館総合展. (2013)

OAジャーナルの成長

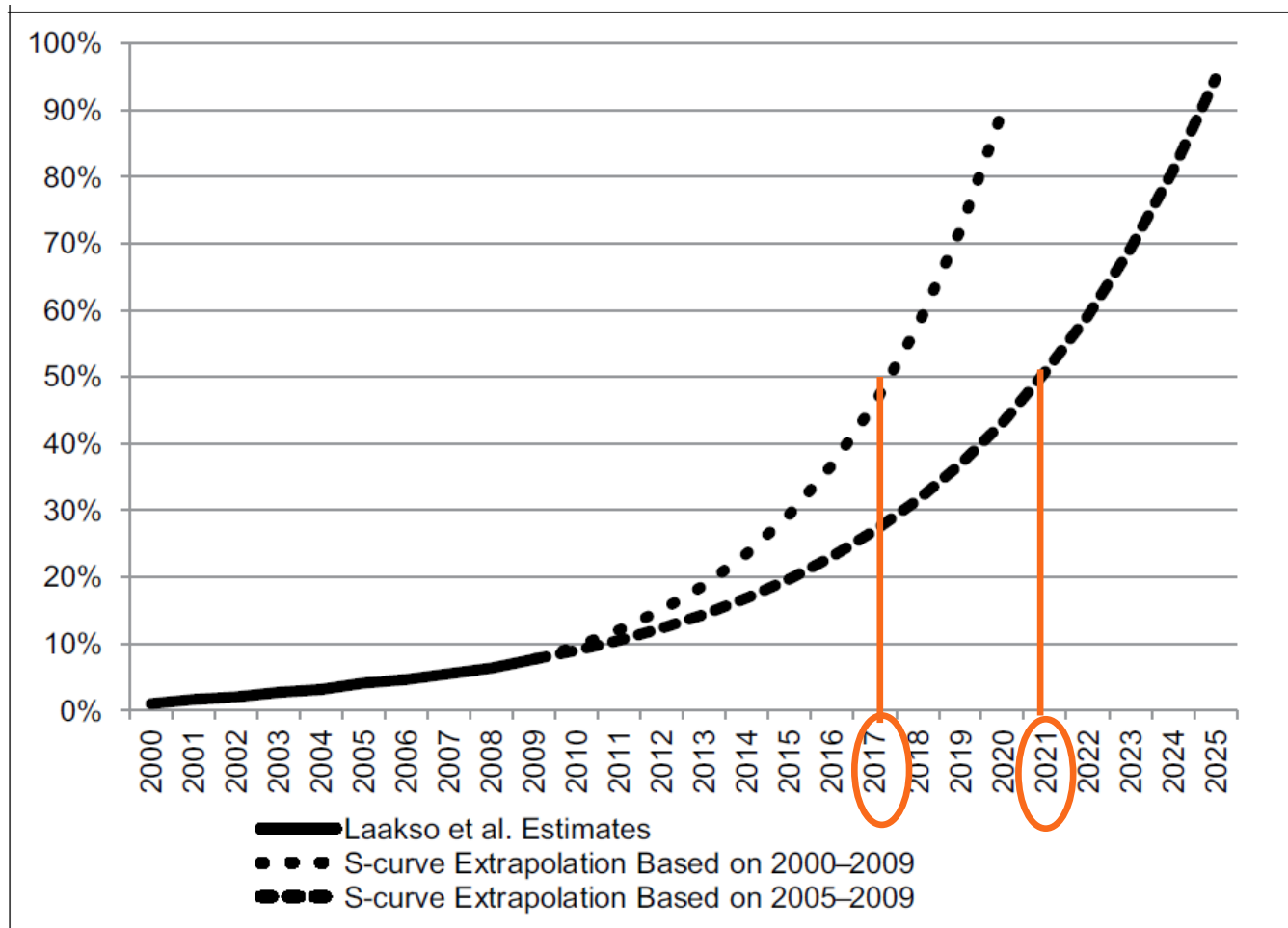


出典:

Mikael Laakso, Patrik Welling, Helena Bukvova, Linus Nyman, Bo-Christer Björk, Turid Hedlund (2011)
The Development of Open Access Journal Publishing from 1993 to 2009. PLoS ONE 6(6): e20961.
doi:10.1371/journal.pone.0020961

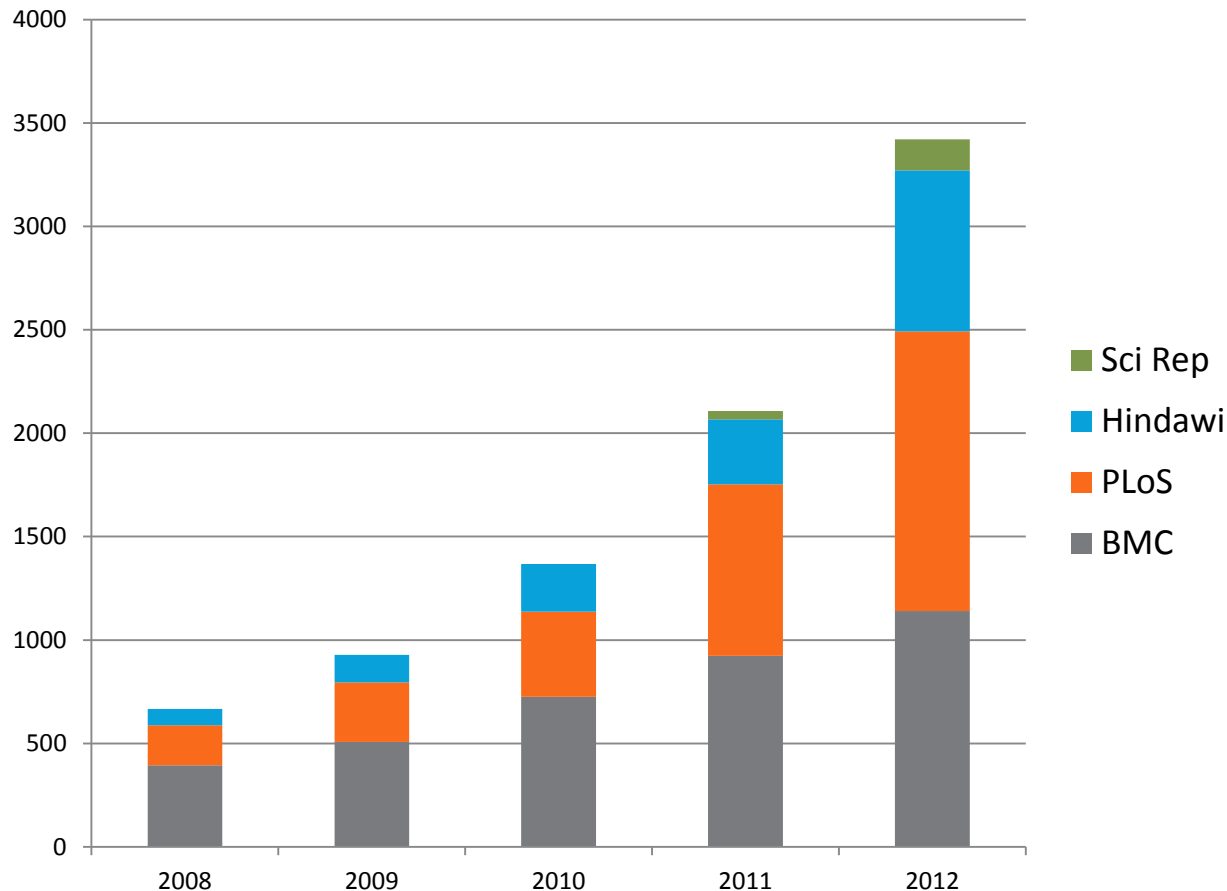
* DOAJからのサンプル調査

OAジャーナル論文の成長予測



Lewis, David W. The Inevitability of Open Access. College & Research Libraries. 73(5), 493-506. 2012

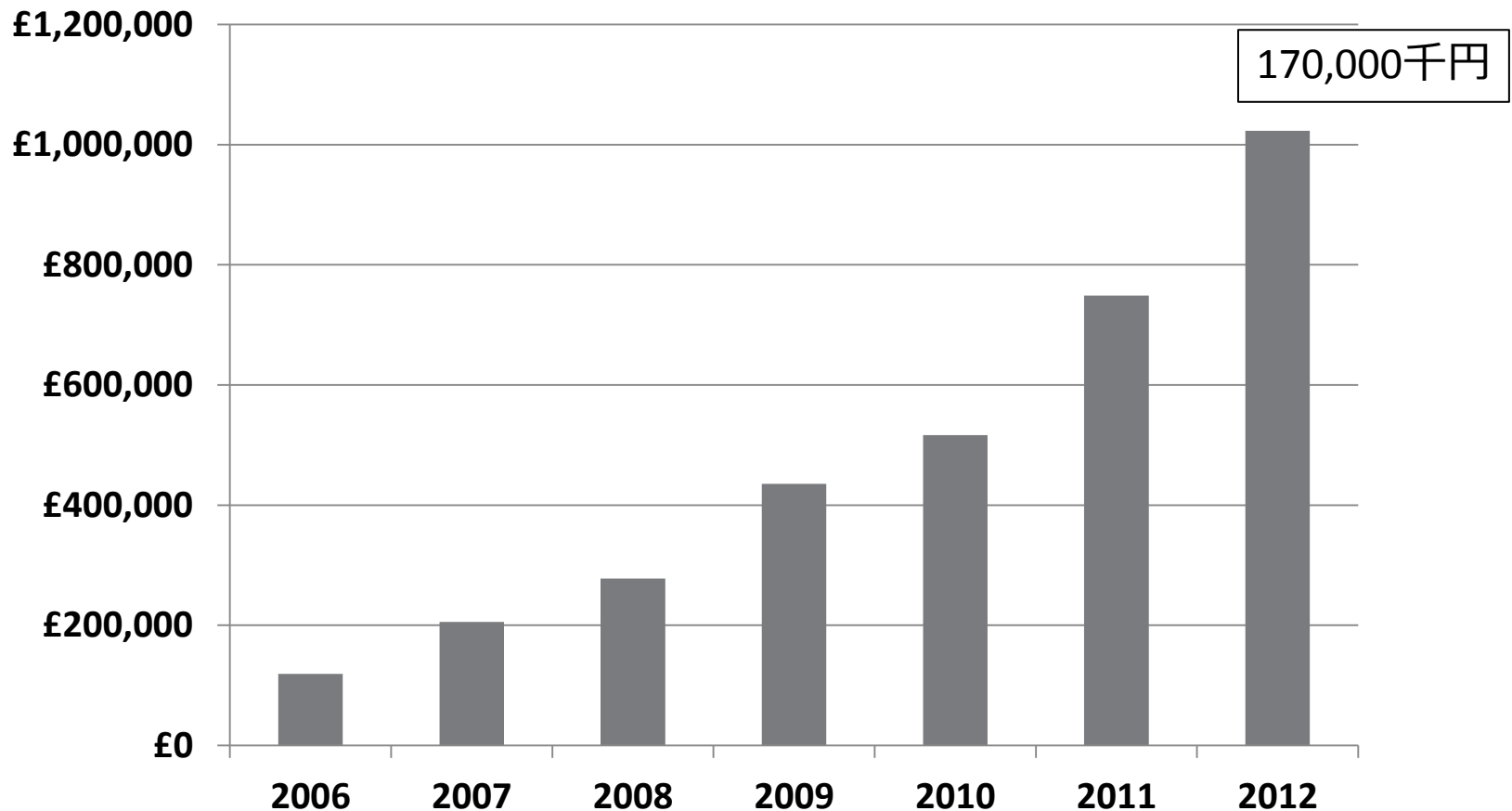
OAジャーナル掲載論文（日本発）



根本輝子. 国内におけるGoldオープンアクセスとAPCの情勢. 図書館総合展. (2013)

BioMed CentralへのAPC支払額

(Chemistry Central、SpringerOpenを含む)



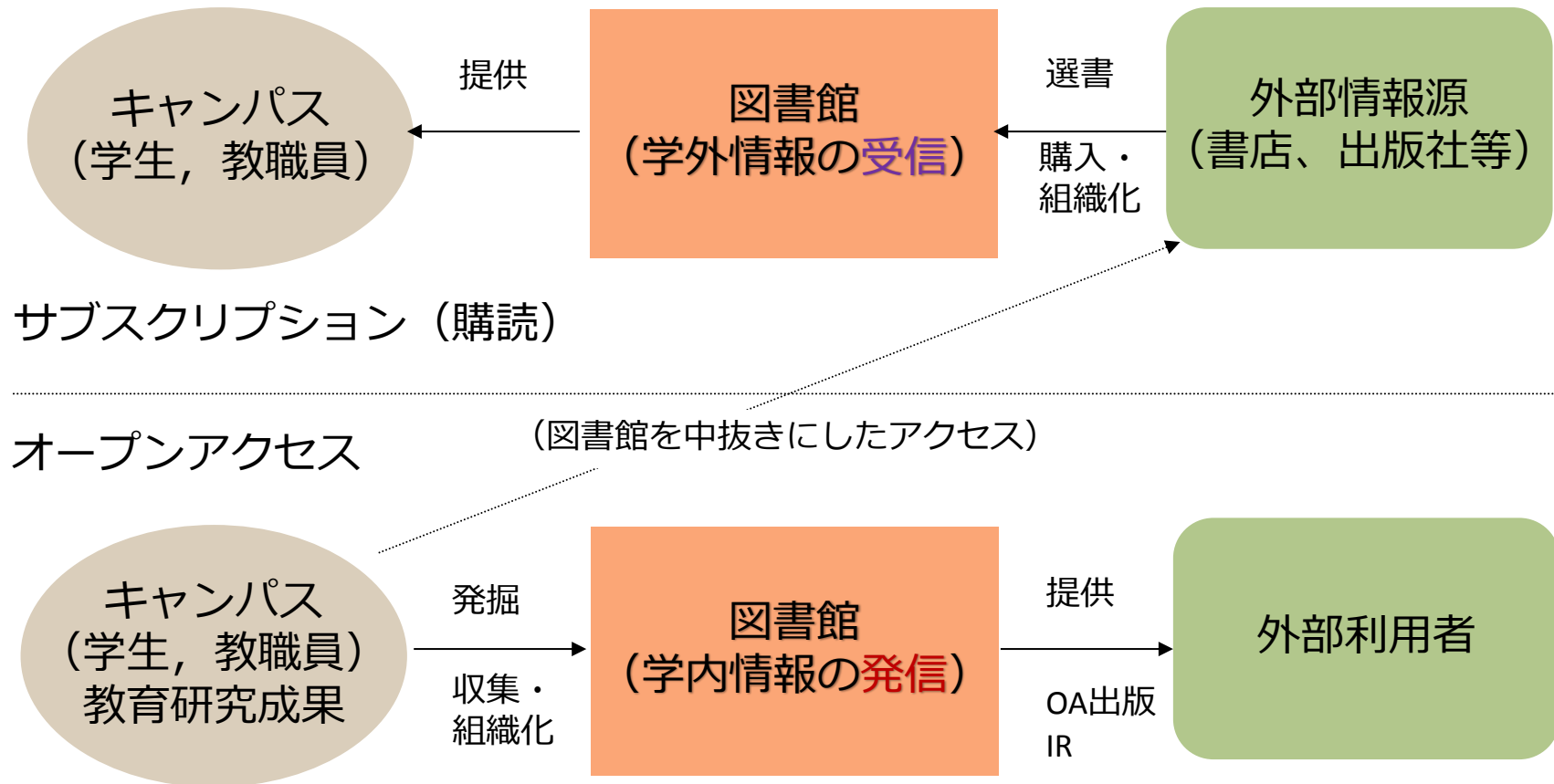
根本輝子. 国内におけるGoldオープンアクセスとAPCの情勢. 図書館総合展. (2013)

図書館業務の変容



冊子体	電子ジャーナル	電子ジャーナル (パッケージ)	OAジャーナル
選定	選定	選定	選定
契約	契約	契約	契約
受入	受入	受入	受入
目録	目録	目録	目録
支払	支払	支払	支払
供用	供用	供用	供用
ILL	ILL	ILL	ILL
製本	製本	製本	製本
保存	保存	保存	保存
			APC管理？

コペルニクス的転換（受信から発信へ）



ハイブリッド図書館 = 受信 + 発信

OAジャーナルによる論文公表に関する調査

● 背景

- OAジャーナルの進展
- 大学図書館の役割の見直しが求められる
- 研究者のOAに対する意識、OAジャーナルへの投稿、APC支払いの実態が不明

● 目的

- わが国の研究者によるOAジャーナルでの論文公表とAPC支払の実態を把握
- それに基づき、OAジャーナルの進展のなかでの、図書館の役割の見直しやOAジャーナルのビジネスモデルの検討に資する

● 調査主体

- SPARC Japan ワーキンググループ（国立大学図書館協会、JUSTICE、NII）

アンケート調査

● 調査対象者

- 日本の大学・高等教育機関、研究機関等に所属する研究者（大学院生は除く）
- 44の機関の図書館を通じて回答依頼



詳細はこちら

13:15-14:45 | 特別会議室（1F）

NII Goes OPEN

オープンアクセス～Gold OAに対応するのは誰か
相原 雪乃（NII学術コンテンツ課）

報告書はSPARC Japanのサイトで公開

<http://www.nii.ac.jp/sparc/2014/05/apcwgreporth26.html>

自由意見

- OAジャーナルのメリット
 - a. 無料で閲覧可能
 - b. 投稿から掲載までのプロセスの迅速さ

- OAジャーナルへの懸念
 - a. 学術雑誌としての質・評価および継続性
 - b. APCの価格・支払能力

OA誌の問題は？

1. 質に問題がある（ハゲタカOA出版社）
2. APCが高い、特にハイブリッドOA誌のAPCが高額
3. APC支払額を把握しているのは出版社だけ
4. Double Dippingの問題

図書館ができることは？

1. 質の高いOA誌の情報を研究者に提供する
2. APCの値上がりを抑える交渉
3. APC支払を一元的に管理する
4. APC支払額を購読料から明確な形で減額させる



OA誌への論文発表を通じた発信支援
JUSTICEの新たなミッション

JiscとPeerJの合意

JISC collections

Home About us Catalogue Help and information Contact us What's new? Events

Back to news feed

Peer J - Affordable, open access, publishing now available to biological and medical science researchers

Published Tue January 28 2014
By Carolyn Alderson in Open Access

Affordable, open access, publishing now available to biological and medical science researchers.

24 January 2014, Bristol- From today UK universities will be able to centrally fund their researchers' publication plans for biological and medical sciences journal PeerJ following an agreement with Jisc. This will allow authors to publish articles in the award winning journal for free, for life.

24 January 2014, Bristol- From today UK universities will be able to centrally fund their researchers' publication plans for biological and medical sciences journal PeerJ following an agreement with Jisc. This will allow authors to publish articles in the award winning journal for free, for life.

Further information

24 January 2014, Bristol- From today UK universities will be able to centrally fund their researchers' publication plans for biological and medical sciences journal PeerJ following an agreement with Jisc. This will allow authors to publish articles in the award winning journal for free, for life.

PeerJ is open access and affordable for both researchers and their universities. It provides academics with two open access publications: PeerJ (a peer-reviewed academic journal) and PeerJ PrePrints (a 'pre-print server'). Both cover the whole of the biological and medical sciences and the PeerJ journal peer-reviews content only for scientific and methodological soundness.

Carolyn Alderson, acting head of licensing at Jisc Collections said: "The PeerJ tag line is: "Your Peers, Your Science. Academic Publishing Is Evolving" and we are delighted to be part of the enabling process for UK authors and institutions to participate in this new way of working."

PeerJ's pioneering new model was recognised in 2013 by the Association of Learned and Professional Society Publishers when it was awarded the "Publishing Innovation" of the year. This model is increasingly relevant as the importance of open access comes to the fore in research funding policy.

Neil Jacobs, head of scholarly communications Jisc said: "UK institutions can now give their authors an advantage as open access grows, as it inevitably will, with the forthcoming Higher Education Funding Council for England's Research Excellence Framework. As well as being innovative, PeerJ is a first class publication option. It provides authors with a great publishing service, visibility for their research and significant impact."

With the new arrangement institutions pre-pay for publication plans and individuals take advantage of that pre-payment when they come to publish. As a result institutions now have an easy, frictionless, and cost-effective way to provide their faculty with a world class open access publication option.

Peter Binfield, co-founder and publisher of PeerJ said: "we are excited to be offering our publication plans through Jisc. With this arrangement, UK institutions are now able to easily purchase a publication package that is tailored to their needs and which will provide large numbers of their faculty with the lifetime ability to publish their open access articles."

Peer J Open Access Publication Plan

Contacts:

Jisc Collections
Email: help@jisc-collections.ac.uk
Web: <https://www.jisc-collections.ac.uk>

PeerJ
Email: info@peerj.com
Web: <https://PeerJ.com>

- PeerJは生涯APCモデルを採用するOA誌
- JISCとPeerJが機関出版プランについて合意（Jan. 28, 2014）
- 大学等が定額を支払うことにより、構成員は生涯無料でPeerJに論文掲載可能に

Jisc APC

- Jisc Collectionsと
Open Access Key
(OAK) の共同
プロジェクト
- APC支払・管理シ
ステムを検証中

<https://www.jiscapc.ac.uk/>

おわりに

最後のメッセージ

「JUSTICE会員の皆さん、JUSTICEがあなたのために何をしてくれるかではなく、あなたがJUSTICEのために何ができるかを考えようではありませんか」